

創刊の辭

昭和7年に千葉高等園芸学校學術報告第1号を上梓して以來、第5号までつゞけられたこの報告も、太平洋戦争がたけなわとなるにつれて、これを中絶するのやむなきに至り、戦後は今日までに、わずかに昭和23年に第6号を公にするを得たにすぎなかった。

社会經濟上の見透しは、今日なお確たるものとは断じ得ない事情にあるとしても、こゝに独立2年目を迎え、社会情勢は一応のおちつきをみせ、新制大学としての歩みも4年にしてようやく軌道にのり、学問分野における學術研究の意欲も最近とみに加わりつゝあることは、まことに同慶にたえない。

こゝにおいて新たなるかわぶくろにうま酒をもらんとの意図のもとに千葉大学園芸学部學術報告第1号を創刊するの機運にたち至ったことは欣快の上もないことである。幸にして立派な權威ある論文が相次いで発表せられ、これが學術の進歩、産業の振興に寄与することの多からんことを期すものである。

昭和28年2月20日

園芸学部長 武田 憲治